

稻敷市学校再編に関する 意見交換会

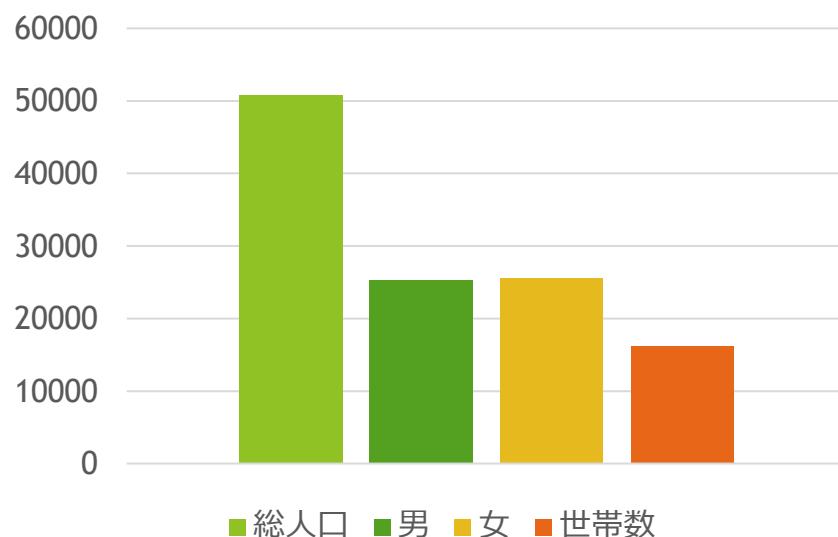
次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 説明
 - (1) 稲敷市的人口について (P1)
 - (2) 稲敷市の出生者について (P2)
 - (3) 稲敷市立小学校の現状について (P3～P6)
 - (4) 稲敷市立中学校の現状について (P7)
 - (5) 稲敷市の教育方針について (P8～P10)
 - (6) これからの教育環境について (P11～P15)
 - (7) 稲敷市立学校の位置について (P16、P17)
 - (8) 学校再編のスケジュール案について (P18～P25)
 - (9) 資料 (P26～P29)
- 4 質疑・意見交換
- 5 閉会

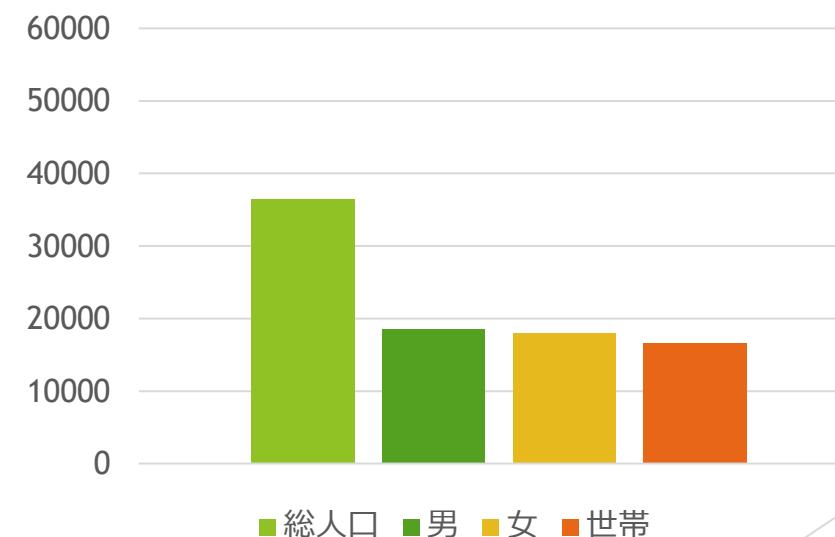
(1) 稲敷市の人口について

合併当初（平成17年3月）⇒ 現在（令和7年9月）

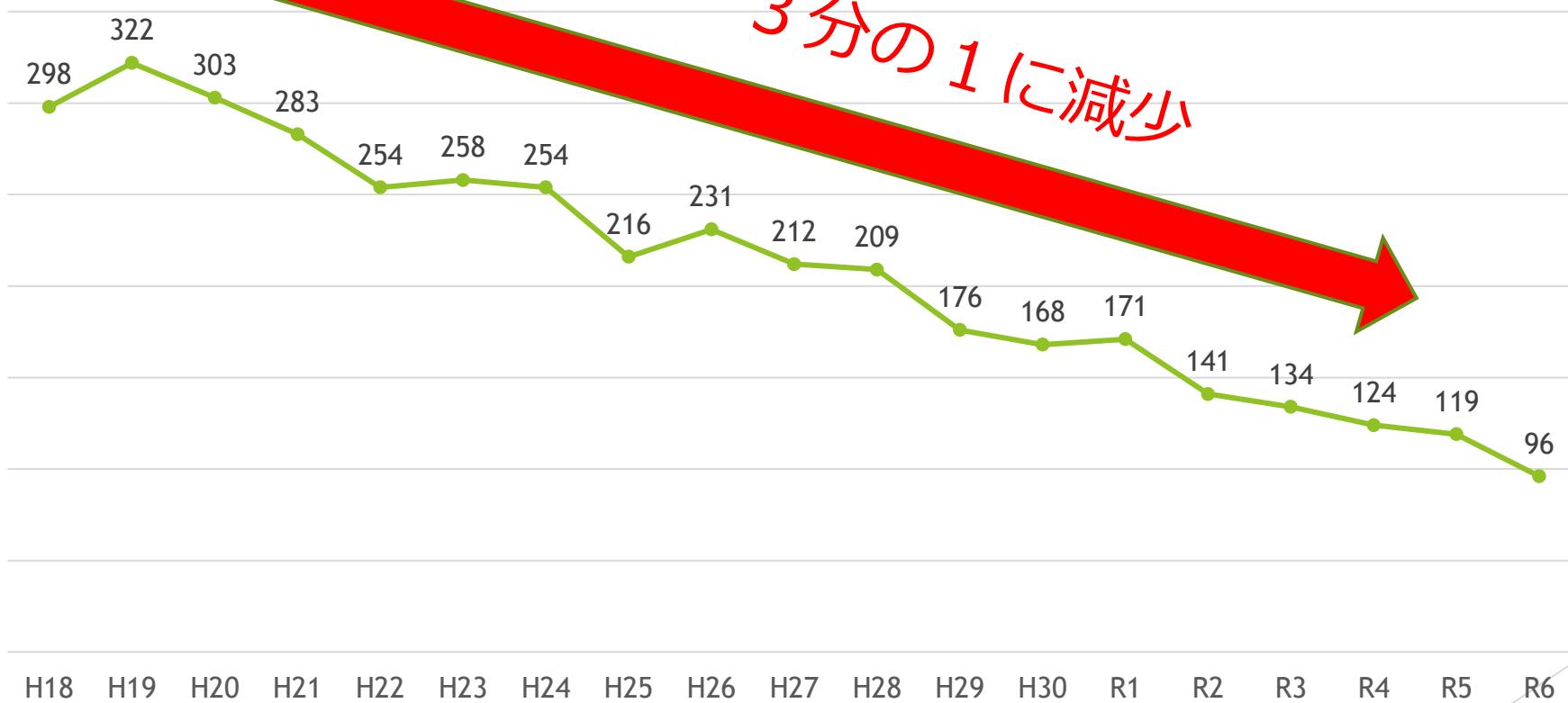
50,858人



36,498人



(2) 稲敷市の出生者について



(3) 稲敷市立小学校の現状について

①各地区の状況

江戸崎地区

江戸崎小・沼里小・高田小

新利根地区

新利根小

桜川地区

桜川小

東地区

あずま東小・あずま北小・あずま西小

※あずま北小とあずま西小は、令和9年4月に統合します。

(3) 稲敷市立小学校の現状について

②各小学校の現状

() 内は学級数

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数計	学校規模
江戸崎小	36 (1)	43 (2)	58 (2)	49 (2)	38 (2)	55 (2)	279 (11)	小規模
沼里小	26 (1)	13 (1)	20 (1)	20 (1)	15 (1)	18 (1)	112 (6)	小規模
高田小	15 (1)	16 (1)	12 (1)	9 (1)	22 (1)	12 (1)	86 (6)	小規模
新利根小	27 (1)	32 (1)	33 (1)	23 (1)	38 (1)	38 (2)	191 (7)	小規模

※茨城県では、小学校における適正規模は、12学級以上が望ましいと示しています。

(3) 稲敷市立小学校の現状について

②各小学校の現状

() 内は学級数

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数計	学校規模
桜川小	17	26	35	18	37	27	160	小規模
	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(1)	(7)	
あずま東小	23	25	31	35	33	30	177	小規模
	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(6)	
あずま北小	7	7	6	8	10	15	53	小規模
	(1)	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(5)	
あずま西小	13	9	23	16	16	14	91	小規模
	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(6)	
合計	164	171	218	178	209	209	1,149	
	(8)	(9)	(9)	(8)	(10)	(10)	(54)	

※茨城県では、小学校における適正規模は、12学級以上が望ましいと示しています。

(4) 稲敷市立中学校の現状について

・各中学校の現状

() 内は学級数

学校名	1年	2年	3年	生徒数計	学校規模
江戸崎中	89 (2)	98 (3)	106 (3)	293 (8)	小規模
新利根中	36 (1)	30 (1)	36 (1)	102 (3)	小規模
桜川中	34 (1)	33 (1)	44 (2)	111 (4)	小規模
東中	73 (2)	62 (2)	65 (2)	200 (6)	小規模
合計	232 (6)	223 (7)	251 (8)	706 (21)	

※茨城県では、中学校における適正規模は、9学級以上が望ましいと示しています。

(5) 稲敷市の教育方針について

① 時代に対応した教育の充実

- ・予測困難な時代や多様性が求められる時代に柔軟に対応できる能力を持つ子どもの育成を推進する。
- ・グローバルな環境で将来活躍できる子どもたちの育成のため国際教育を推進する。

<適正規模を踏まえた校長先生からの意見>

- ・大きな集団で多様な考えに触れることができ、少人数ではたどり着けない結論などを導くことができる。
- ・交友関係が広がり、集団生活を通して社会性や協調性など「人と関わる力」を高めるチャンスが確実に増える。
- ・クラス替えが可能となり、人間関係が固定化されにくくなる。
- ・より多くの児童生徒と学ぶことで、競争意識や向上心が生まれ、切磋琢磨できる環境が作られる。

(5) 稲敷市の教育方針について

②多様な教育的ニーズへの支援と推進

- ・特別な支援が必要な子どもたちに対し、一人ひとりの能力や可能性を伸ばす教育の推進する。
- ・家庭の事情により支援が必要な児童生徒の家庭に、必要な費用の一部を援助費助成事業により援助する。

<適正規模を踏まえた校長先生からの意見>

- ・学級数が増えれば、各学年で習熟度別学習や教科担任制などを取り入れやすくなる。
- ・多様な得意分野をもつ教員が集まることで、指導方法や教材研究の共有ができ、授業力など、教員の資質や能力の向上が期待できる。
- ・教職員の特性や経験を活かしたバランスのよい配置が可能となる。

(5) 稲敷市の教育方針について

③質の高い教育環境の整備

- ・児童生徒数の減少が進む中で、小中学校の適正配置について検討し、学習環境の充実、教育水準の維持向上に取り組む。
- ・少人数指導、習熟度別学習、チームティーチングなどを取り入れ、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。
- ・ICT機器を活用した家庭学習を図るなど、学校と家庭が連携しながら、学習習慣の確立に努める。

＜適正規模を踏まえた校長先生からの意見＞

- ・委員会やクラブ活動の種類が多く設定でき、児童生徒の活動の幅が広がる。
- ・運動会や文化祭、合唱祭、修学旅行等の集団活動・学校行事等の教育効果を上げることができる。
- ・教職員数が確保できれば、出張等による校外研修や研究発表会等に参加しやすくなり、教員が主体的に学ぶ環境をつくれる。

(6) これからの教育環境について

～適正規模での教育環境を推進～

▶ 小規模校のメリット

- ・児童生徒一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな指導を受けることができる
- ・児童生徒と教職員がお互いをよく知り、雰囲気のよい学校生活を送ることができる。
- ・学校全体で一体感のあるイベントを行うことができる。
- ・教職員の意思疎通が図れ、柔軟な学校運営ができる。

▶ 小規模校のデメリット

- ・クラス替えができないため、人間関係が固定化されやすい
- ・運動会や集団スポーツ、合唱合奏等に制限がでる場合がある
- ・教職員が少なく、一人当たりの校務分掌の負担が大きくなる
- ・職員配置に制限ができ、専門的な職員の配置が限られる場合がある

(6) これからの教育環境について

より活力ある学校へ

児童生徒・教職員数を一定数確保

- ・全学年でクラス替えができる。
- ・同学年に複数の職員を配置できる。



1学年2学級以上の学校

<メリット>

- ①クラス同士で切磋琢磨する教育活動
- ②クラブ活動や部活動が活発化
- ③男女比の偏りが少なくなる
- ④運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が上がる
- ⑤体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の効果が上がる
- ⑥経験年数・専門性等バランスのとれた教職員配置ができ、それらを活かし充実した指導が望める

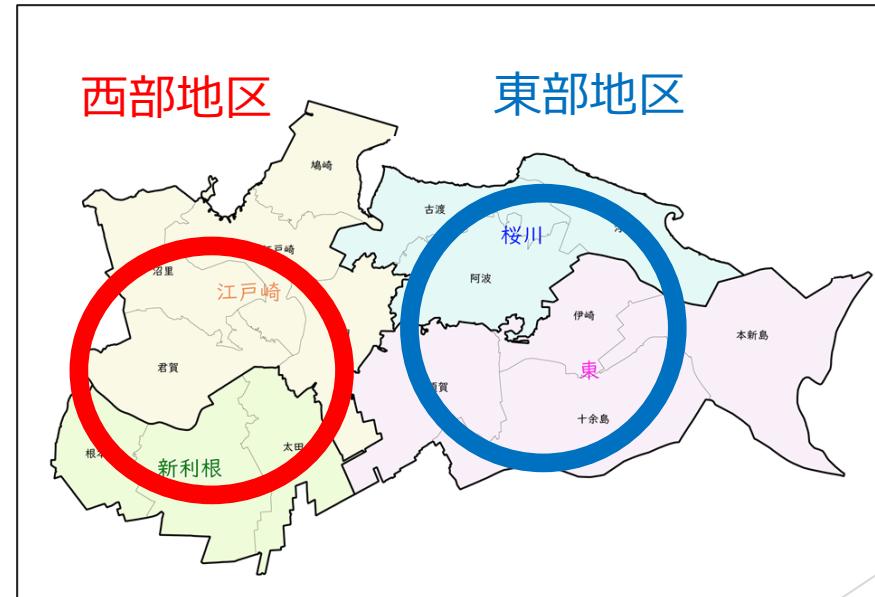
(6) これからの教育環境について

<前提条件 1> 東西に小学校と中学校を 1 校ずつ

これまでの通学区域



これからの通学区域

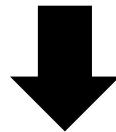


(6) これからの教育環境について

<前提条件2> 小学校と中学校を同一敷地または隣接地へ

施設規模

小学校 < 中学校



中学校敷地を活用して
小学校と中学校を併設

	江戸崎中	新利根中	桜川中	東中
普通教室数	18	8	6	15
特別教室数	22	10	15	14
校地面積	56,017m ²	23,012m ²	39,337m ²	61,988m ²

<メリット>

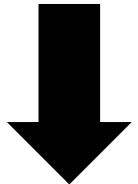
- ①同一敷地内に児童生徒・教職員が多くなり、より活力が生まれる
- ②スクールバスを効率的に運行できる
- ③小学校と中学校間で教職員の助け合いができる
- ④災害等が発生した場合、兄弟がいる家庭は迎えが1か所になる

(6) これからの教育環境について

<前提条件3> 新たな土地を取得しない

- 今後も児童生徒数が減少傾向であるため

- 新たな土地の取得はしない
 - 学校の新築はしない



必要最低限の増築・改築

安価な構造による増築・改築を検討

リースによる教室数増も検討

(7) 稲敷市立学校の位置について

西部地区中学校の比較

	江戸崎中	新利根中
普通教室数	18	8
特別教室数	22	10
敷地面積	56,017m ²	23,012m ²
令和14年度 の生徒数	209人	60人

東部地区中学校の比較

	桜川中	東中
普通教室数	6	15
特別教室数	15	14
敷地面積	39,337m ²	61,988m ²
令和14年度 の生徒数	58人	125人

(7) 稲敷市立学校の位置について

前提条件 1～3 により検討した結果

1. 西部地区は、江戸崎中学校敷地を活用
東部地区は、東中学校敷地を活用
2. 現在の施設を最大限に活用し、必要最低限の増改築により小学校と中学校を併設
3. 東中学校は、浸水想定区域（0.5m～3m未満）になっているため、防災指針や防災対策を講じる。

(8) 学校再編のスケジュール案について

①令和25年までの各学校の児童生徒数推計

学校名	R6(実績)	R7(実績)	R8(推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25
江戸崎小学校	児童数 292人	284人	283人	269人	243人	205人	196人	187人	177人	173人	169人	163人	168人	159人	152人	148人	143人	140人	136人	
	学級数 11学級	11学級	10学級	9学級	8学級	7学級	6学級													
	学校規模 対応等	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	
沼里小学校	児童数 106人	109人	117人	114人	111人	103人	91人	79人	72人	68人	66人	63人	62人	61人	61人	60人	59人	58人	57人	56人
	学級数 6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	5学級	5学級	4学級	4学級	4学級	4学級	
	学校規模 対応等	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	
高田小学校	児童数 89人	87人	82人	74人	73人	73人	69人	58人	58人	53人	50人	46人	50人							
	学級数 6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	5学級	5学級	4学級								
	学校規模 対応等	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	中大										
新利根小学校	児童数 209人	188人	180人	157人	151人	141人	134人	124人	121人	119人	118人	113	102	97	96	95	92	89	86	84
	学級数 6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	
	学校規模 対応等	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	
桜川小学校	児童数 181人	159人	163人	145人	140人	116人	109人	93人	86人	74人	71人	69人	60人	59人	57人	55人	52人	51人	49人	
	学級数 7学級	7学級	7学級	6学級	5学級	5学級	5学級													
	学校規模 対応等	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	中大	中大	
あずま東小学校	児童数 202人	177人	172人	161人	143人	128人	117人	111人	104人	97人	94人	92人	97人	94人	91人	95人	91人	90人	87人	
	学級数 6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	
	学校規模 対応等	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模	
あずま北小学校	児童数 60人	54人	52人	46人	42人	39人	29人	29人	21人	16人	14人	12人								
	学級数 5学級	5学級	5学級	5学級	4学級	4学級	3学級	4学級	3学級	3学級	2学級	2学級	2学級	2学級	3学級	3学級	2学級	3学級	3学級	
	学校規模 対応等	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	中大	
あずま西小学校	児童数 95人	91人	93人	88人	82人	71人	76人	82人	87人	92人	93人	92人	94人	88人	86人	85人	83人	81人	80人	
	学級数 6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	5学級	6学級													
	学校規模 対応等	小規模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	
江戸崎中学校	生徒数 299人	293人	249人	233人	226人	250人	241人	239人	209人	194人	184人	150人	145人	142人	138人	132人	130人	128人	125人	121人
	学級数 8学級	7学級	6学級	6学級	7学級	7学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	5学級	4学級	3学級	2学級	2学級	3学級	3学級	3学級	
	学校規模 対応等	過江施設	小規模	小规模	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板											
新利根中学校	生徒数 124人	101人	122人	125人	106人	99人	84人	82人	60人	51人	45人	47人	48人	47人	43人	41人	39人	39人	39人	39人
	学級数 4学級	4学級	4学級	3学級																
	学校規模 対応等	小规模	小规模	小规模	单字板															
桜川中学校	生徒数 116人	111人	94人	98人	82人	91人	77人	76人	58人	50人	41人	30人	28人	27人	26人	25人	25人	24人	24人	
	学級数 4学級	3学級	2学級	2学級	3学級	2学級	2学級	2学級	2学級	2学級	3学級	2学級	2学級	2学級	3学級	2学級	2学級	3学級	3学級	
	学校規模 対応等	小规模	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	单字板	
東中学校	生徒数 193人	201人	187人	183人	172人	181人	163人	140人	125人	124人	118人	107人	99人	100人	99人	101人	90人	89人	87人	85人
	学級数 6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	5学級	4学級	4学級	4学級	3学級									
	学校規模 対応等	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	小规模	单字板									

別紙1

(8) 学校再編のスケジュール案について

②再編統合を優先して検討すべき状況

(1) 複式学級の発生

高田小（令和14年）、沼里小（令和19年）、桜川小（令和24年）

→ **江戸崎地区3小学校の統合**

(2) 義務教育9年間で全学年クラス替えのできない環境

新利根地区（令和8年）、桜川地区（令和9年）

→ **4中学校を東西1校ずつへ統合**

(3) 小規模校の解消

全校

→ **小学校を東西1校ずつへ統合**

(8) 学校再編のスケジュール案について

学校再編のスケジュール（案）

学校名	R6(実績)	R7(実績)	R8(実績)	R9(実績)	R10(実績)	R11(実績)	R12(実績)	R13(実績)	R14(実績)	R15(実績)	R16(実績)	R17(実績)	R18(実績)	R19(実績)	R20(実績)	R21(実績)	R22(実績)	R23(実績)	R24(実績)	R25(実績)
江戸崎小 【普通教室17】 【特別教室1】	児童数 292人	284人	283人	289人	243人	205人	366人	324人	307人	294人	285人	386人	378人	373人	362人	353人	345人	336人	329人	326人
江戸崎小 【普通教室17】 【特別教室1】	学級数 11学級	11学級	10学級	9学級	8学級	7学級	13学級	12学級	12学級											
対応等																				
江戸崎小 【普通教室17】 【特別教室1】	児童数 106人	109人	117人	114人	111人	103人	江戸 崎小 学校													
江戸崎小 【普通教室17】 【特別教室1】	学級数 6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	5学級	学級数 单字級													
対応等																				
江戸崎小 【普通教室17】 【特別教室1】	児童数 89人	87人	82人	74人	73人	73人	江戸 崎小 学校													
江戸崎小 【普通教室17】 【特別教室1】	学級数 6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	5学級	学級数 单字級													
対応等																				
新利根小 【普通教室14】 【特別教室13】	児童数 209人	188人	180人	157人	151人	141人	134人	124人	121人	119人	118人	124人	121人	119人	118人	117人	116人	115人	114人	113人
新利根小 【普通教室14】 【特別教室13】	学級数 8学級	7学級	6学級	6学級	6学級	5学級	学級数 单字級													
対応等																				
新利根小 【普通教室14】 【特別教室13】	児童数 181人	159人	163人	145人	140人	118人	100人	93人	80人	74人	70人	74人								
新利根小 【普通教室14】 【特別教室13】	学級数 7学級	7学級	7学級	6学級	6学級	5学級	学級数 单字級													
対応等																				
あずま東小 【普通教室10】 【特別教室8】	児童数 202人	177人	172人	161人	143人	128人	117人	111人	104人	96人	89人	81人	74人	67人	60人	53人	46人	40人	34人	28人
あずま東小 【普通教室10】 【特別教室8】	学級数 7学級	6学級	6学級	6学級	5学級	5学級	学級数 单字級													
対応等																				
あずま北小 【普通教室8】 【特別教室8】	児童数 60人	54人	52人	48人	45人	42人	40人	38人	36人	34人	32人	30人	28人	26人	24人	22人	20人	18人	16人	14人
あずま北小 【普通教室8】 【特別教室8】	学級数 5学級	5学級	4学級	4学級	4学級	3学級	学級数 算式													
対応等																				
あづま西小 【普通教室8】 【特別教室8】	児童数 95人	91人	93人	136人	124人	116人	110人	111人	108人	105人	102人	99人	96人	93人	90人	87人	84人	81人	78人	75人
あづま西小 【普通教室8】 【特別教室8】	学級数 6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	学級数 单字級													
対応等																				
江戸崎中 【普通教室18】 【特別教室22】	生徒数 299人	293人	249人	233人	228人	250人	241人	239人	269人	245人	209人	202人	193人	189人	178人	173人	169人	167人	164人	160人
江戸崎中 【普通教室18】 【特別教室22】	学級数 9学級	8学級	7学級	6学級	7学級	7学級	学級数 单字級													
対応等																				
新利根中 【普通教室10】 【特別教室10】	生徒数 124人	101人	122人	125人	106人	99人	84人	82人	124人	101人	80人	77人	74人	71人	68人	65人	62人	60人	58人	56人
新利根中 【普通教室10】 【特別教室10】	学級数 4学級	3学級	3学級	3学級	3学級	3学級	学級数 单字級													
対応等																				
藤川中 【普通教室15】 【特別教室15】	生徒数 116人	111人	94人	98人	82人	91人	77人	76人	116人	104人	83人	80人	77人	74人	71人	68人	65人	62人	60人	58人
藤川中 【普通教室15】 【特別教室15】	学級数 4学級	3学級	3学級	3学級	3学級	3学級	学級数 单字級													
対応等																				
高中 【普通教室15】 【特別教室14】	生徒数 193人	201人	187人	183人	172人	181人	183人	140人	183人	179人	168人	148人	129人	128人	126人	127人	119人	114人	111人	109人
高中 【普通教室15】 【特別教室14】	学級数 6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	学級数 单字級													
対応等																				

別紙2

(8) 学校再編のスケジュール案について

江戸崎地区の小学校の位置は、江戸崎小学校を活用する方向で検討します。

«江戸崎地区の小学校位置の方向性»

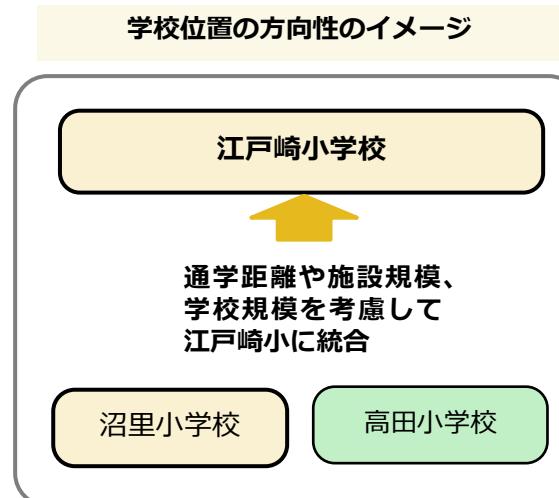
沼里小学校と高田小学校は、現在において、全ての学級で単式学級となっています。また、近い将来に複式学級の発生が見込まれています。

沼里小学校においては、江戸崎小学校と同等の敷地面積を有しますが、**普通教室棟（普通教室6室、トイレ2か所）1,000m²ほど（建築費概算約5.6億円）の増築が必要**となります。

高田小学校においては、江戸崎小学校の約1.5倍の校地を有していますが、**普通教室棟（普通教室6室、トイレ2か所）1,000m²ほど（建築費概算約5.6億円）の増築が必要**となります。

江戸崎小学校においては、十分な教室数を有しているため**増築の必要がなく、その後の修繕等も必要がない**と見込まれます。他2小学校と比較した場合、校地面積で劣るが過去の統合実績（君賀小、鳩崎小統合）により活用は可能と考えます。

また、江戸崎小学校の児童数が他の小学校に比べ2倍以上多く、通学距離や施設規模を考慮して江戸崎小学校を活用する方向で検討します。



(8) 学校再編のスケジュール案について

西側地区中学校は、江戸崎中学校を活用する方向で検討します。

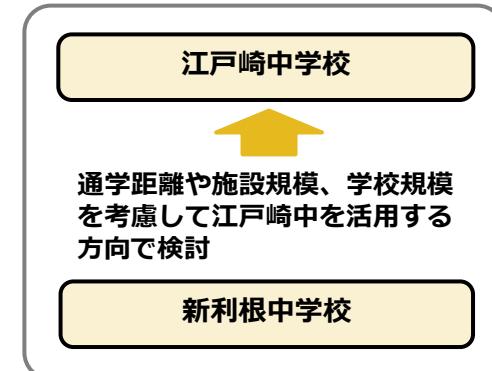
«西側地区（江戸崎中・新利根中）の中学校位置の方向性»

江戸崎中学校と新利根中学校を統合した場合、**江戸崎中学校**は受け入れ可能なキャパシティ（施設規模）を有しており**増築の必要はありません**。

新利根中学校においては、令和15年以降であれば統合後の生徒数の受け入れられる可能性がありますが、特別支援学級数やフリースクールでの教室数を考慮すると**普通教室棟（普通教室4室、トイレ2か所）700～800m²ほど（建築費概算約4～4.5億円）の増築が必要**と考えられます。

通学圏域については、江戸崎中学校では江戸崎地区の3小学校区をカバーし、新利根中学校では新利根小学校区をカバーします。両校ともに6km圏で学区域をカバーできず遠距離通学が生じていることから通学支援（スクールバス等）の検討が必要となります。そのため、遠距離通学による生徒の負担を最小限にするため、通学圏域のカバー状況と学校規模（江戸崎中学校は新利根中学校の約2.1倍～2.9倍）を考慮し、江戸崎中学校を活用する方向で検討します。

学校位置の方向性のイメージ



(8) 学校再編のスケジュール案について

東側地区の中学校の位置は、防災指針の策定や防災対策を講じることを前提に東中学校を活用する方向で検討します。

«東側地区（桜川中・東中）の中学校位置の方向性»

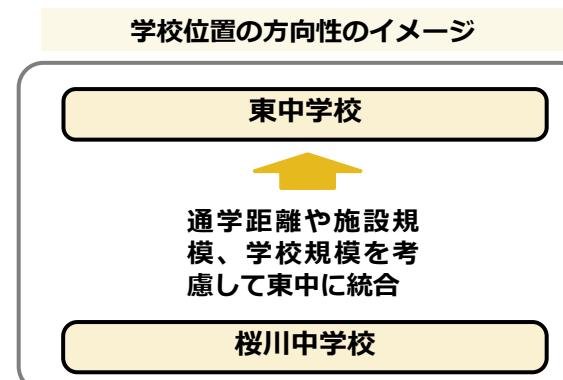
桜川中学校と東中学校を統合した場合、**東中学校**は受け入れ可能なキャパシティ（施設規模）を有しており**増築の必要はありません**。

桜川中学校においては、令和14年以降であれば統合後の生徒数の受け入れられる可能性がありますが、特別支援学級数やフリースクールでの教室数を考慮すると**普通教室棟（普通教室4室、トイレ2か所）700～800m²ほど（建築費概算約4～4.5億円）の増築が必要**と考えられます。

桜川中学校は浸水想定区域外であり、東中学校では浸水想定区域内(浸水深0.5～3m)となっており浸水深3m以上のエリアに囲まれています。

通学距離では東中学校区が7km圏で東地区の生活圏を概ねカバーしていますが、桜川中学校区では東地区の生活圏をカバーできないエリアが多くなっています。そのため、遠距離通学による生徒の負担を最小限にするため、通学圏域のカバー状況と学校規模（東中学校は桜川中学校の約1.9～3.5倍）を考慮し、東中学校の活用が望ましいと考えます。

東地区的学校位置については、防災指針の策定や防災対策を講じることを前提に東中学校を活用する方向で検討します。



(8) 学校再編のスケジュール案について

東側地区の小学校の位置は、東中学校を活用する方向で検討します。

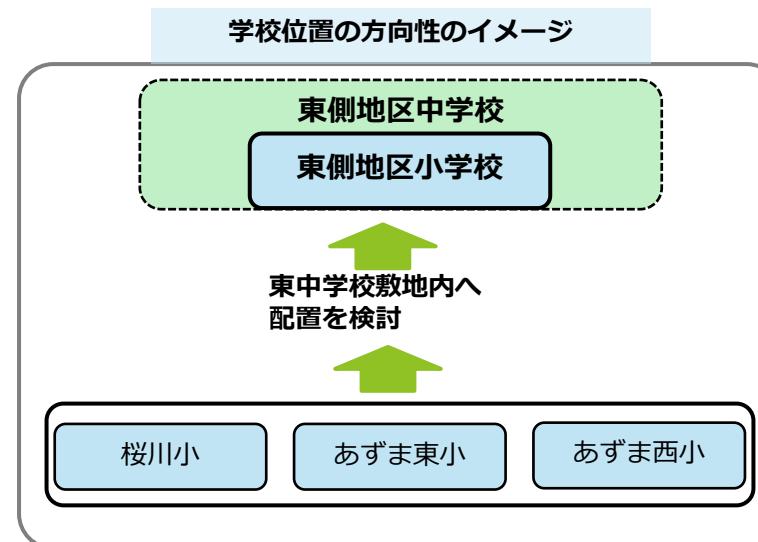
«東側地区の小学校位置の方向性»

東部地区における学校位置は、東中学校を活用する方向で検討します。

東中学校においては、広大な敷地を有し、**特別教室棟（理科室、図工室、音楽室、家庭科室その他準備室、トイレ1か所）1,000m²ほど（建築費概算約5.6億円）**を増築すれば小学校と中学校の併設が可能となる。

桜川中学校においては、同一敷地内に**小学校1棟6,000m²ほど（建築費概算約33.5億円）**を新設せざるを得ません。

以上のことから、通学距離を考慮すると東中学校の活用が望ましいと考えられ、防災指針の策定や防災対策を講じることを前提に東中学校を活用する方向で検討します。



※令和9年4月にあずま北小学校とあずま西小学校が統合

(8) 学校再編のスケジュール案について

西側地区の小学校の位置は、江戸崎中学校を活用する方向で検討します。

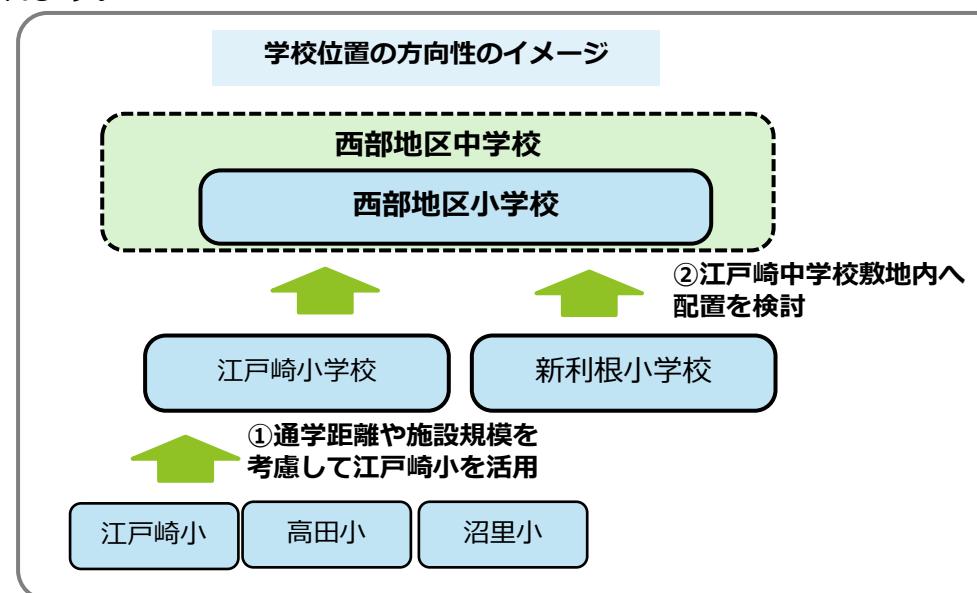
«西側地区の小学校位置の方向性»

通学距離や施設規模、学校規模を考慮して江戸崎中学校を活用する方向で検討します。

江戸崎中学校においては、広大な敷地を有し、**特別教室棟（理科室、図工室、音楽室、家庭科室その他準備室、トイレ1か所）1,000m²ほど（建築費概算約5.6億円）を増築**すれば小学校と中学校の併設が可能となります。

新利根中学校においては、江戸崎中学校と比較し敷地面積が半分ほどとなります。新利根小学校舎を活用すれば、**普通教室棟（普通教室6室、トイレ2か所）1,000m²ほど（建築費概算約5.6億円）を増築**することにより中学校を活用することも可能となります。

以上のことから、**建築費による差はないものの、遠距離通学による生徒の負担を最小限にするため**、通学圏域の力バー状況（P20記載のとおり）と学校規模（江戸崎中学校は新利根中学校の約2.1倍～2.9倍）を考慮すると**江戸崎中学校の活用が望ましい**と考えられます。



(資料) 江戸崎地区出生者からの児童生徒数推計

産まれ年度	江戸崎 地区	沼里 地区	高田 地区	計	令和8年度	令和12年度 (小学校統合)	令和14年度 (中学校統合)
H29	43	13	16	72	(小3)	(中1)	(中3)
H30	37	26	15	78	(小2)	(小6)	(中2)
R1	33	21	9	63	(小1)	(小5)	(中1)
R2	34	16	15	65		(小4)	(小6)
R3	29	14	12	55		(小3)	(小5)
R4	31	16	14	61		(小2)	(小4)
R5	33	10	8	51		(小1)	(小3)
R6	17	8	7	32			(小2)
R7	9	3	2	14			(小1)

※R7の出生者は、令和7年8月29日現在となります。

(資料) 新利根地区出生者からの児童生徒数推計

産まれ年度	根本地区	柴崎地区	太田地区	計	令和8年度	令和14年度 (中学校統合)	令和17年度 (小学校統合)
H29	7	16	9	32	(小3)	(中3)	
H30	3	17	7	27	(小2)	(中2)	
R1	3	14	3	20	(小1)	(中1)	
R2	4	9	5	18		(小6)	(中3)
R3	2	12	8	22		(小5)	(中2)
R4	6	8	5	19		(小4)	(中1)
R5	3	16	4	23		(小3)	(小6)
R6	4	9	7	20		(小2)	(小5)
R7	1	3	2	6		(小1)	(小4)

※R7の出生者は、令和7年8月29日現在となります。

(資料) 桜川地区出生者からの児童生徒数推計

産まれ年度	阿波 地区	古渡 地区	浮島 地区	計	令和8年度	令和14年度 (中学校統合)	令和15年度 (小学校統合)
H29	9	8	9	26	(小3)	(中3)	
H30	5	8	4	17	(小2)	(中2)	(中3)
R1	8	6	11	25	(小1)	(中1)	(中2)
R2	7	8	7	22		(小6)	(中1)
R3	4	1	8	13		(小5)	(小6)
R4	4	6	4	14		(小4)	(小5)
R5	6	4	5	15		(小3)	(小4)
R6	4	2	7	13		(小2)	(小3)
R7	0	2	1	3		(小1)	(小2)

※R7の出生者は、令和7年8月29日現在となります。

(資料) 東地区出生者からの児童生徒数推計

産まれ年度	東小地区	北小地区	西小地区	計	令和8年度	令和14年度 (中学校統合)	令和15年度 (小学校統合)
H29	25	7	9	41	(小3)	(中3)	
H30	23	7	13	43	(小2)	(中2)	(中3)
R1	21	9	13	43	(小1)	(中1)	(中2)
R2	25	6	12	43		(小6)	(中1)
R3	20	5	12	37		(小5)	(小6)
R4	19	3	14	36		(小4)	(小5)
R5	20	1	14	35		(小3)	(小4)
R6	11	3	6	20		(小2)	(小3)
R7	7	0	9	16		(小1)	(小2)

※R7の出生者は、令和7年8月29日現在となります。